

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 3 区分

【発行日】平成24年8月2日(2012.8.2)

【公開番号】特開2011-212755(P2011-212755A)

【公開日】平成23年10月27日(2011.10.27)

【年通号数】公開・登録公報2011-043

【出願番号】特願2010-80375(P2010-80375)

【国際特許分類】

B 2 5 C 1/00 (2006.01)

B 2 5 C 1/08 (2006.01)

【F I】

B 2 5 C 1/00 A

B 2 5 C 1/08

【手続補正書】

【提出日】平成24年6月18日(2012.6.18)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 1】

【図 1】本発明の実施の形態に係る燃焼式打込機を示す部分断面図。

【図 2】本発明の実施の形態に係る燃焼式打込機のプッシュレバーを示す側面図。

【図 3】本発明の実施の形態に係る燃焼式打込機のプッシュレバー及び止具送り機構を示す側面図（非作動状態）。

【図 4】図 3 に示すプッシュレバー及び止具送り機構を A 方向から見た背面図（非作動状態）。

【図 5】図 3 に示すプッシュレバー及び止具送り機構を B 方向から見た上面図（非作動状態）。

【図 6】図 1 のVI - VIに沿った断面図。

【図 7】本発明の実施の形態に係る燃焼式打込機のプッシュレバー及び止具送り機構を示す側面図（まだ止具が配置されていない場合における押付状態）。

【図 8】図 7 に示すプッシュレバー及び止具送り機構を C 方向から見た背面図（まだ止具が配置されていない場合における押付状態）。

【図 9】図 7 に示すプッシュレバー及び止具送り機構を D 方向から見た上面図（まだ止具が配置されていない場合における押付状態）。

【図 10】本発明の実施の形態に係る燃焼式打込機のプッシュレバー及び止具送り機構を示す側面図（打込後の状態）。

【図 11】図 10 に示すプッシュレバー及び止具送り機構を G 方向から見た上面図（打込後の状態）。

【図 12】本発明の実施の形態に係る燃焼式打込機のプッシュレバー及び止具送り機構を示す側面図（既に止具が配置されている場合における押付状態）。

【図 13】図 12 に示すプッシュレバー及び止具送り機構を E 方向から見た背面図（既に止具が配置されている場合における押付状態）。

【図 14】図 12 に示すプッシュレバー及び止具送り機構を F 方向から見た上面図（既に止具が配置されている場合における押付状態）。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】 0 0 1 7

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 0 1 7 】

第 1 バンパ 7 4 は、第 1 シリンダ室 7 a の下部に位置している。第 1 バンパ 7 4 は、第 1 ピストン 7 1 が下方に移動した場合に、第 1 ピストン 7 1 と孔 7 c 周辺の壁部とが直接接触することを抑制する。第 1 バンパ 7 4 は、ゴム等の弾性材料によって構成され、後述のネジ 1 A を打ち込んだ際に第 1 ピストン 7 1 の衝撃を吸収する。第 1 バンパ 7 4 と第 1 ピストン 7 1 とが当接する位置が第 1 ピストン 7 1 の下死点となる。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 5 4

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 0 5 4 】

その後、トリガスイッチ 3 1 をオフし、打込機 1 全体を持ち上げ、プッシュレバー 4 1 を図示せぬ被加工材から離すと、プッシュレバー 4 1 と燃焼室枠 8 が図示せぬスプリングの付勢により図 1 に示す位置へ戻る。フィーダ 4 3 及びアーム 4 4 は、図 1 0 及び図 1 1 に示されるように、プッシュレバー 4 1 の下降に伴って、第 1 案内部 4 1 D に案内されながら第 1 貫通孔 4 1 a 内を第 2 規制壁 4 1 G (図 2) から第 1 規制壁 4 1 F に向かって移動する。フィーダ 4 3 は第 1 支持面 4 8 C 及び第 2 支持面 4 8 D (図 6) によって上下方向における移動が規制されているので、フィーダ 4 3 及びアーム 4 4 は主ハウジング 2 1 に対して左右方向にのみ移動して送り位置から初期位置へと移動する。このとき、連結されたネジ 1 A は案内側壁 4 7 に設けられた図示せぬ突起によって右方向への移動が規制されているので、アーム 4 4 が送り位置から初期位置へと移動する際に、フィーダ 4 3 は爪部 4 3 B が次に打込むべきネジ 1 A の外周に当接しながら、第 1 バネ 4 5 A の付勢力に抗してピン 4 4 C を中心として回転する。これにより、フィーダ 4 3 は次のネジ 1 A を打込めるようにネジ 1 A の右側 (搬送方向上流側) に位置しながら初期位置に配置される。